

|          |
|----------|
| 公 表 日    |
| 令和 年 月 日 |

## 随意契約結果及び契約の内容

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 業務の名称                        | 令和3年度 城原川ダム本体施設設計業務   |
| 業務概要                         | 別紙のとおり  |
| 契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地 | 分任支出負担行為担当官<br>九州地方整備局 佐賀河川事務所長<br>亀園 隆<br>佐賀県佐賀市兵庫南2丁目1番34号  |
| 契約年月日                        | 令和 3年 6月22日   |
| 契約業者名                        | 八千代エンジニアリング (株)   |
| 契約業者の住所                      | 福岡県福岡市中央区荒戸2-1-5  |
| 契 約 金 額                      | 24,970,000円 (税込み)   |
| 予 定 価 格                      | 24,970,000円 (税込み)   |
| 随意契約によることとした理由               | 別紙のとおり<br>(※随意契約理由書を添付すること。)  |
| 業 務 場 所                      | 佐賀県佐賀市  |
| 業 種 区 分                      | 土木関係建設コンサルタント業務   |
| 履行期間 (自)                     | 令和 3年 6月23日   |
| 履行期間 (至)                     | 令和 4年 3月15日   |
| 備考                           | 入札情報サービス (P P I)<br>( <a href="http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx">http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx</a> )<br>にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。 |

# 契約理由書

1. 業務件名 令和3年度 城原川ダム本体施設設計業務
2. 履行場所 佐賀県佐賀市
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市中央区荒戸二丁目1番5号  
会社名：八千代エンジニアリング株式会社 九州支店  
電 話：(092) 751-1431
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号

## 5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

### 1) 当該業務の目的

本業務は、城原川ダム事業における施設計画の一環として、別途実施する地質総合解析結果を踏まえてダム本体及び付属施設の配置検討・概略設計を行い、ダム天端標高（非越流部標高）を確定するとともに、有力ダム軸を絞り込むための検討を行うものである。

### 2) 業務の内容

|                |    |
|----------------|----|
| ①計画準備          | 1式 |
| ②基本条件の整理       | 1式 |
| ③ダム本体及び付属施設の検討 | 1式 |
| ④ダム軸比較検討       | 1式 |
| ⑤関係機関協議等資料作成   | 1式 |
| ⑥報告書作成         | 1式 |

### 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を24者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち3者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「配置予定技術者の資格及び実績等」、「配置予定技術者の成績及び表彰」は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」における工程計画の工夫が記載されていること、及び評価テーマの「城原川ダムの本体検討における留意事項について」に対する技術提案について、提案内容の説得力について最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

佐賀河川事務所 調査課長